令和6年第4回那須烏山市議会12月定例会（第1日）

令和6年11月29日（金）

開会 午前10時00分

散会 午後 1時53分

◎出席議員（15名）

1番	高木洋一	2番	福田長弘
3番	荒井浩二	4番	堀江清一
5番	興野一美	6番	青木敏久
7番	矢板清枝	8番	滝口貴史
9番	小堀道和	10番	相馬正典
11番	田島信二	12番	渋井由放
14番	中山五男	15番	高田悦男
16番	平塚英教		

◎欠席議員（なし）

◎説明のため出席した者の職氏名

市長	川俣純子
副市長	熊倉精介
教育長	内藤雅伸
会計管理者兼会計課長	高田勝
総合政策課長	小原沢一幸
公共施設再編担当課長	関雅人
まちづくり課長	大鐘智夫
総務課長	佐藤博樹
税務課長	川俣謙一
市民課長	大谷啓夫
福祉事務所長兼健康福祉課長	岡誠
こども課長	水上和明
農政課長	深澤宏志
商工観光課長	星貴浩
都市建設課長	佐藤光明

上下水道課長

石 嶋 賢 一

学校教育課長

齋 藤 浩 文

生涯学習課長

黒 尾 明 美

◎事務局職員出席者

事務局長

菊 地 唯 一

書 記

渡 辺 睦 美

書 記

吉 川 和 穂

○議事日程

- 日程 第 1 会議録署名議員の指名について（議長提出）
- 日程 第 2 会期の決定について（議長提出）
- 日程 第 3 議案第 8号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度那須烏山市一般会計補正予算（第6号）について）（市長提出）
- 日程 第 4 議案第 9号 那須烏山市公民館設置、管理及び使用料条例の一部改正について（市長提出）
- 日程 第 5 議案第 1号 令和6年度那須烏山市一般会計補正予算（第7号）について（市長提出）
- 日程 第 6 議案第 2号 令和6年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について（市長提出）
- 日程 第 7 議案第 3号 令和6年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算（第3号）について（市長提出）
- 日程 第 8 議案第 4号 令和6年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について（市長提出）
- 日程 第 9 議案第 5号 令和6年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算（第2号）について（市長提出）
- 日程 第10 議案第 6号 令和6年度那須烏山市水道事業会計補正予算（第1号）について（市長提出）
- 日程 第11 議案第 7号 令和6年度那須烏山市下水道事業会計補正予算（第2号）について（市長提出）
- 日程 第12 議案第10号 財産の取得について（追認）（市長提出）
- 日程 第13 議案第11号 財産の取得について（追認）（市長提出）
- 日程 第14 議案第12号 新市建設計画の変更について（市長提出）
- 日程 第15 議案第13号 曲畑辺地及び志鳥下辺地に係る総合整備計画の策定について（市長提出）
-

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

[午前10時00分開会]

○議長（青木敏久） 皆さん、おはようございます。傍聴席の皆様方には、お忙しい中、議場に足をお運びいただき、ありがとうございます。

ただいま出席している議員は15名です。定足数に達しておりますので、令和6年第4回那須烏山市議会12月定例会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

日程に入る前に報告いたします。地方自治法第121条の規定に基づき、市長、教育長以下、関係課長の出席を求めていますので、御了解願います。

次に、本日からの定例会に当たり、去る11月21日及び本日、議会運営委員会を開き、議会運営委員会の決定に基づき会期及び日程を編成いたしましたので、御協力くださいますようお願いいたします。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（青木敏久） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により議長において指名いたします。会議録署名議員に、

1番 高木洋一議員

2番 福田長弘議員を指名いたします。

◎日程第2 会期の決定について

○議長（青木敏久） 日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。この定例会の会期は、さきに送付したとおり、本日から12月6日までの8日間としたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日から8日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議の日程は、送付してあります会期日程表により行いますので、御協力願います。

◎日程第3 議案第8号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度那須

烏山市一般会計補正予算（第6号）について

○議長（青木敏久） 日程第3 議案第8号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度那須烏山市一般会計補正予算（第6号）について）を議題といたします。

市長の提案理由の説明を求めます。

川俣市長。

〔市長 川俣純子 登壇〕

○市長（川俣純子） 議案第8号につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案は、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、令和6年度一般会計補正予算（第6号）を10月9日付で専決処分いたしましたので、同条第3項の規定に基づき議会に報告し、承認を求めるものであります。

一般会計補正予算（第6号）につきましては、歳入・歳出をそれぞれ1,571万9,000円増額し、補正後の予算総額を126億9,976万9,000円とするものであります。

補正予算の内容を御説明申し上げます。

まず、歳出であります。

総務費の衆議院議員選挙費につきましては、第50回衆議院議員総選挙が令和6年10月27日に執行されることに伴い、必要な予算を調整したものであります。

次に、歳入であります。

県支出金につきましては、衆議院議員選挙費委託金の計上であります。

なお、不足財源につきましては、前年度繰越金をもって措置いたしました。

何とぞ慎重に御審議の上、御承認くださいますようお願いを申し上げます。

○議長（青木敏久） 以上で提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

14番中山五男議員。

○14番（中山五男） 1点ほどお伺いをしたいと思います。

国政選挙の場合は、費用全額が、私、委託金として歳入に入るのかと思ったところ、今回一般会計から54万8,000円ほど支出しております。これは、なぜ出さなければならなかったのか、これについて1点。

それと、これは参考のためにお伺いしたいんですが、今回の衆議院議員総選挙、続いて知事選がありました。これら2つの選挙から、那須烏山市の投票所、それから、投票時間と改善すべき点があったか、これは担当課長どのように考えられているかをお伺いしたいと思います。

す。

以上です。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） それでは、まず1点目の一般会計負担が54万8,000円生じたことについてでございますが、議員がおっしゃるとおり、基本的に国政選挙等につきましては交付金で対応しているところですが、備品購入にかかる費用、それにつきましては全額が交付金対象とはなっておりません。9分の5が委託費の算定基準になりまして、残りの9分の4は一般財源負担というような算定基準になってございます。今回、投票用紙交付機と計算機、そのような備品を購入したことから、その9分の4にかかる費用が54万8,000円になっているところでございます。

続きまして、2点目の投票時間や投票所の改善すべきところがなかったかという点でございますが、まず、今回の衆議院の選挙の投票率につきましては、本市におきましては小選挙区60.05%、3年前の前回衆議院の52.28%より大幅に向上したところでございます。投票率では茂木町に次いで2位、期日前投票率については県内では1位の結果になってございます。続く知事選も38.93%と投票率はあまり高くはなかったんですが、茂木町に次いで全体では2位、期日前投票率ではやはり県内で1位という結果でございました。

本市では、投票所、投票時間等の改善につきましては、まず、平成31年4月に投票所を12か所に減らしました。また、当日の投票時間も午後6時までと改善してございますが、それと同時に、その便宜を図るために臨時期日前投票所や移動期日前投票所の開設、また、デマンド交通の移動支援、啓発や主権者教育の充実など、各種取組を展開しているところでございます。そのような改善がございまして以上のような投票率になっていると思っております。

今後につきましては、引き続き選挙の公平確保、また、調和を図りながら、有権者が投票しやすい投票環境づくりに努めていきたいというふうに考えてございます。

以上です。

○14番（中山五男） はい、了解しました。ありがとうございます。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） 今の答弁でちょっとお聞きしたいことが、臨時投票所と移動投票所でしたかね、そこの投票率というのは、もし分かればお聞きしたいんですが、いかがでしょうか。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 恐れ入ります。

ただいまの答弁につきましては、この後またちょっと時間をいただいて回答したいと思います。

す。すみません。

○議長（青木敏久） 16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 中山議員と同じような質問になるかと思いますが、知事選挙は、今回この補正に載っていないということは、定期的にあらかじめ選挙が予定されていたということで、県のほうからその予算は出ているというような理解でよろしいですかね。

それと、その際にも全額県費で、県の交付金で賄うという考え方でよろしいですかね。

その2点お願いします。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 知事選につきましては、当初から任期満了ということでございましたので、当初予算に計上してございます。

委託費につきましても、基本的には10分の10で賄うことで対応しているところでございます。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） ちなみに公営掲示板の委託金は幾らぐらい上るんでしょうか。その1つ当たりの単価もできたらお示してください。

以上です。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） ポスター掲示場につきましては、予算上は114か所でございます。それは102か所につきまして、そのほかに今回は国民審査もございましたので、それプラス12か所で114か所になっておりまして、消費税を込めまして105万4,800円の予算で執行してございます。

以上です。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、これで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

採決いたします。日程第3 議案第8号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度那須烏山市一般会計補正予算（第6号）について）、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第8号は原案のとおり承認することに決定いたしました。

◎日程第4 議案第9号 那須烏山市公民館設置、管理及び使用料条例の一部改正
について

○議長（青木敏久） 日程第4 議案第9号 那須烏山市公民館設置、管理及び使用料条例の一部改正についてを議題といたします。

市長の提案理由の説明を求めます。

川俣市長。

〔市長 川俣純子 登壇〕

○市長（川俣純子） 議案第9号につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案は、公民館施設利用者の利便性の向上を図るため、これまで原則休館日としていた毎週月曜日、毎月第3日曜日及び祝日を開館日とし、「休館日を12月28日から翌年1月4日まで」のみに改めるとともに、公民館事業の開催を烏山公民館に集約したことから、各公民館に主たる公民館事業の対象区域を定める必要がなくなったことに伴い、所要の改正を行うものであります。

何とぞ慎重に御審議の上、可決・御決定くださいますようお願いを申し上げ、提案理由の説明といたします。

○議長（青木敏久） 以上で提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、これで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

採決いたします。日程第4 議案第9号 那須烏山市公民館設置、管理及び使用料条例の一部改正について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第9号は原案のとおり可決いたしました。

日程第5 議案第1号から日程第11 議案第7号までの令和6年度那須烏山市一般会計補正予算（第7号）について、令和6年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、令和6年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算（第3号）について、令和6年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について、令和6年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算（第2号）について、令和6年度那須烏山市水道事業会計補正予算（第1号）について、令和6年度那須烏山市下水道事業会計補正予算（第2号）についての7議案については、いずれも令和6年度補正予算に関するものでありますことから、一括して議題としたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。

◎日程第 5 議案第1号 令和6年度那須烏山市一般会計補正予算（第7号）について

◎日程第 6 議案第2号 令和6年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

◎日程第 7 議案第3号 令和6年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算（第3号）について

◎日程第 8 議案第4号 令和6年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予

算（第1号）について

- ◎日程第 9 議案第5号 令和6年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- ◎日程第10 議案第6号 令和6年度那須烏山市水道事業会計補正予算（第1号）について
- ◎日程第11 議案第7号 令和6年度那須烏山市下水道事業会計補正予算（第2号）について

○議長（青木敏久） よって、議案第1号から議案第7号までの7議案について、一括して議題といたします。

市長の提案理由の説明を求めます。

川俣市長。

〔市長 川俣純子 登壇〕

○市長（川俣純子） 議案第1号から議案第7号まで、一括して提案理由の説明を申し上げます。

まず、議案第1号 令和6年度那須烏山市一般会計補正予算（第7号）についてでございます。

本案は、令和6年度那須烏山市一般会計予算の歳入・歳出をそれぞれ2億6,593万9,000円増額し、予算総額を129億6,570万8,000円とするものであります。

今回は、児童手当制度の改正に伴う児童手当給付費や令和6年8月の豪雨災害に伴う農地・農業用施設災害復旧事業費等の補正予算を編成したものであります。

また、令和6年9月定例会において議決いただきました基幹系システム標準化・共通化業務の債務負担行為につきましては、本市の認識誤りと国の事務取扱変更により見直しが必要となりましたことから、当該債務負担行為を一旦廃止し、新たな債務負担行為を追加するものであります。本市の認識誤りにつきましては、議員及び市民の皆様に深くおわびを申し上げますことといたします。今後このようなことがないように再発防止に努めてまいります。

そのほか自家用有償バス運行業務、一般廃棄物収集運搬業務、包括支援センター運営業務につきまして、翌年度以降の事業実施に必要な債務負担行為を追加するものであります。

では、主な内容を御説明いたします。

まず、歳出であります。

議会費の議員研修事業費につきましては、JR烏山線の利用推進を図るため、JR烏山線利用促進特別委員会の先進地視察及び職員随行の旅費を計上するものであります。

総務費のふるさと応援寄附金事業費につきましては、ふるさと応援寄附金の増額を図るため、新たな返礼品を追加したことに伴い、増加が見込まれる返礼品代等を増額するものであります。

総務費の市有財産管理費につきましては、市道田野倉1号線及び職員第2駐車場用地の借地につきまして、買収に対する合意が得られたことに伴い土地購入費を計上するものであります。

総務費の市税徴収事業費につきましては、市税等の口座振替キャンペーンを本年度末まで延長したことに伴い、プレゼント用クオカード購入費等を増額するものであります。

総務費の選挙啓発費につきましては、市民からいただきました寄附金の目的に沿って、選挙啓発用ユニフォームの購入等消耗品費を計上するものであります。

民生費の障がい児支援事業費、重度心身障がい者医療助成費につきましては、利用者の増加や診療報酬の改定等に伴い、不足が見込まれる事業費を増額するものであります。

民生費の児童手当給付費につきましては、児童手当等制度の改正に伴い、不足が見込まれる事業費を増額するものであります。

民生費の広域利用保育委託費につきましては、他市町の保育園の利用者が増加したことに伴い、不足が見込まれる事業費を増額するものであります。

民生費の生活保護扶助費につきましては、入院を要する生活保護受給者等の増加に伴い、不足が見込まれる事業費を増額するものであります。

農林水産費の農業振興費につきましては、企業版ふるさと納税による寄附金を事業実施主体であります里山大木須を愛する会へ交付する交付金を計上するものであります。

商工費の観光振興費につきましては、当初予算に計上しております向田地内及び小原沢地内の主要施設案内表示板の修繕につきまして、物価高騰等の影響により、不足が見込まれる事業費を増額するものであります。

土木費の清水川せせらぎ公園整備費につきましては、清水川せせらぎ公園において、自転車等乗り入れ禁止等の注意事項が守られていない状況が見受けられることから、注意喚起看板の設置工事費を計上するものであります。

教育費の小学校施設管理費につきましては、烏山小学校受水槽ポンプの故障に伴い、必要な事業費を計上するものであります。

災害復旧費の農地・農業用施設災害復旧事業費につきましては、令和6年8月豪雨により一級河川荒川の三箇、落合及び向田の頭首工が損壊したことに伴い、復旧工事費を計上するものであります。

次に、歳入であります。

分担金及び負担金につきましては、頭首工の復旧工事に対する地元団体分担金の計上であります。

国庫支出金につきましては、障がい児通所給付費に対する障害児施設措置費給付費等負担金の計上、児童手当給付費に対する児童手当負担金の計上、広域利用保育委託費に対する子どものための教育・保育給付交付金の計上、頭首工の復旧工事に対する農地・農業用施設災害復旧事業費補助金の計上等であります。

県支出金につきましては、障がい児通所給付費に対する障害児施設措置費給付費等負担金の計上、広域利用保育委託費に対する子どものための教育・保育給付交付金の計上等であります。

寄附金の企業版ふるさと応援寄附金につきましては、2者から給付していただいております、1者は一般社団法人里山大木須を愛する会への寄附であります。また、1者は地域振興事業への寄附であり、学生応援事業や清水川せせらぎ公園整備事業に活用させていただいております。

寄附金の総務費寄附金につきましては、市民からいただいております、寄附者の意向に沿って選挙啓発費に活用させていただいております。

なお、不足財源につきましては、前年度繰越金をもって措置いたしました。

次に、議案第2号 令和6年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてでございます。

本案は、国民健康保険特別会計事業勘定及び診療施設勘定の予算を補正するものであります。

まず、事業勘定から御説明いたします。

歳入・歳出予算をそれぞれ2,215万1,000円増額し、補正後の予算総額を33億2,437万6,000円とするものであります。

歳出の内容は、職員の人事異動に伴う職員人件費の減額、保険証の廃止に伴い、「資格情報のお知らせ」の交付に係る郵送用窓空き封筒を作成する費用の増額、保険給付費等普通交付金の前年度精算に伴う県への交付金償還金の増額を計上するものであります。

なお、財源については前年度繰越金をもって措置いたしました。

次に、診療施設勘定でございます。

歳入・歳出予算をそれぞれ15万9,000円増額し、補正後の予算総額を5,511万7,000円とするものであります。

歳出の内容は、職員人件費の不足による増額及び電気料金の高騰に伴う光熱費等の増額を計上するものであります。

なお、財源につきましては前年度繰越金をもって措置いたしました。

次に、議案第3号 令和6年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算（第3号）についてでございます。

本案は、熊田診療所特別会計の歳入・歳出をそれぞれ32万7,000円増額し、補正後の予算総額を5,388万9,000円とするものであります。

歳出の内容は、光熱水費及び医療用消耗品費に不足が生じたため増額するほか、新たに診療に必要となる医療器具を購入する費用を計上するものであります。

なお、財源については一般会計繰入金をもって措置をいたしました。

次に、議案第4号 令和6年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてでございます。

本案は、後期高齢者医療特別会計予算の歳入・歳出をそれぞれ10万円増額し、補正後の予算総額を4億2,004万円とするものであります。

歳出の内容は、被保険者へ過納となった保険料の還付する保険料還付金に不足が見込まれるため、増額するものであります。

なお、財源については前年度繰越金をもって措置をいたしました。

次に、議案第5号 令和6年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算（第2号）についてでございます。

本案は、介護保険特別会計予算の歳入・歳出をそれぞれ7,244万9,000円増額し、補正後の予算総額を28億5,592万9,000円とするものであります。

歳出の主な内容は、人事異動に伴う職員人件費の精査及び前年度の保険給付費実績に基づく国、県支出金等の償還金の増額でございます。

なお、財源につきましては、職員人件費については一般会計繰入金を、償還金につきましては前年度繰越金及び財政調整基金繰入金ををもって措置をいたしました。

次に、議案第6号 令和6年度那須烏山市水道事業会計補正予算（第1号）についてでございます。

本案は、収益的支出を1,076万9,000円増額し、補正後の予算総額を6億420万3,000円とするものであります。

主な内容は、配水管及び給水管の漏水の増加に伴う修繕費の増額であります。

最後に、議案第7号 令和6年度那須烏山市下水道事業会計補正予算（第2号）についてでございます。

本案は、下水道事業会計予算の収益的支出を125万9,000円増額し、補正後の予算総額を4億301万6,000円とするものであります。

主な内容は、栃木県が実施する一般県道烏山停車場線中央交差点及び国道294号旭地内舗装工事に伴い、マンホール蓋の高さ調整が必要となったため、修繕費を増額するものであります。

以上、議案第1号から議案第7号まで、一括して提案理由の説明を申し上げます。

何とぞ慎重に御審議の上、可決・御決定くださいますようお願いを申し上げ、提案理由の説

明とさせていただきます。

○議長（青木敏久） 以上で提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 一般会計のほうで何点か質問したいと思います。

まず、24ページの高齢者福祉費、これの25ページを見ますと、その中に認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業費というのが770万円あるんですけども、この内容について御説明をお願いいたします。

さらに、その下の児童福祉費、児童措置費だと思われるんですけども、広域利用保育委託費というのが1,287万4,000円出ていますけども、これは該当される方は何人いらっしゃいますかという話です。

次に、26ページの、これは25ページの母子福祉事業費関係なのかなというふうに思われるんですけども、ひとり親世帯生活支援特別給付金事業費というのが75万円出ておりますが、これも該当される方は何人いらっしゃいますか。

その下のほうの26ページの環境衛生費の廃棄物監視員設置事業費、74万4,000円増額になっておりますが、この理由をお知らせください。

その下の母子保健費の中の子育て世代包括支援センター事業総務費というのが142万9,000円増額になっておりますが、この内容について説明をお願いいたします。

次に、32ページの災害対策費の中で、災害対策費が27万5,000円、防災無線管理費が20万9,000円増額されていますが、この内容について説明をお願いいたします。

次、34ページ、文化財保護費、34万5,000円補正されていますが、これは文化財保護のでいいんだよね、34から35にかけて文化財保護費ということで34万5,000円計上されておりますが、この中身についてお知らせください。なぜ補正しなくちゃならないのかということですね。間違っているのであれば、後で答弁の中でお願いします。

36ページ、災害復旧費で先ほど説明がありました、荒川の令和6年の8月の豪雨に伴う三箇、落合及び向田の頭首工が損壊したということでございますが、それぞれの工事費の復旧の事業費と、これはいつまでに完成するという見込みなのか、説明をお願いいたします。

以上です。

○議長（青木敏久） ちょっと静粛をお願いいたします。

平塚議員の質問は議案書の古いほうで御質問された部分もあるんですけども、執行部においては答弁のほう可能ですか。大丈夫ですか。

○16番（平塚英教） 事業はわかりますよね、その部分は補正になっていますから。どれ

見たらいいんだって話なんだけどな。はい、はい、すいません。

いや、質問したのは古いほうなんだけど、新しいほうにも載っているんですよ、この補正の問題は。

○議長（青木敏久） 新しい議案書で対応しますので。

○16番（平塚英教） はい、よろしくお願いします。

○議長（青木敏久） 待っていただけますか。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前10時36分

再開 午前10時40分

○議長（青木敏久） 休憩前に引き続き、再開いたします。

16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） それでは、一般会計について補正関係の質問をいたします。

認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業費770万円、この内容について説明をお願いいたします。

次に、保育関係なんですけど、広域利用保育委託費というのが1,287万4,000円補正されていますが、この該当人数はどういう内容なのか説明をお願いいたします。

次に、環境関係だと思うんですけど、廃棄物監視員措置費事業費74万4,000円の補正の内容。ひとり親世帯生活支援特別給付事業費、これの該当者、75万円ですね、何人いらっしゃいますか。

次に、廃棄物監視員の74万4,000円。

その次が子育て世代包括支援センター事業総務費1,429万円の補正、事業内容について説明をお願いいたします。

次は、災害対策費27万5,000円、防災無線管理費20万9,000円、これの補正した理由をお願いいたします。

次に、文化財保護費でございますが、34万5,000円を補正しておりますが、これはどういう内容ですか。

最後に、災害復旧事業費でございますが、先ほど市長のほうで提案理由がありましたが、令和6年8月の豪雨災害、荒川の三箇、落合、向田の頭首工が損壊したということで、これのそれぞれの工事費、額、それといつまでにこれが完成するのか説明をお願いいたします。

以上です。

○議長（青木敏久） 岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡 誠） 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業費についてお答え申し上げます。

こちら当該施設におきまして非常用電源設備を設置することにより、停電や災害発生時において利用者の安全安心の確保を図るものに対する補助金となります。

なお、歳入・歳出は国庫10割で市の負担はございません。

以上です。

○議長（青木敏久） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、私のほうから議案書、まず、25ページ、広域利用保育委託費の1,287万4,000円の内容でございます。

これは他市町の保育園の利用者が増えたことに伴う委託料の増額ということでございまして、当初は15人だったところ、8人の増加が見込まれまして、その分の8人の増加分ということになります。

それと次に、同じ25ページ、ひとり親世帯生活支援特別給付金事業費の75万円でございますが、これは国庫給付金、子育て世帯生活支援特別給付金の精算に伴う償還金ということになってございます。

続きまして、27ページ、子育て世代包括支援センター事業総務費79万1,000円でございますが、これも国、県の子ども・子育て支援交付金の精算に伴う償還金ということになってございます。

以上でございます。

○議長（青木敏久） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） それでは、まちづくり課関係ですけれども、衛生費、環境衛生費の中の廃棄物監視員設置事業費のほうで御質問いただきました。

こちら、先ほどいただいた数字につきましては、今回の人勸の関係で当初数字を出したものなのですが、今回それに伴いまして、それを除いたもので、共済費だけ3万9,000円を、新しい予算書というか、そちらでは計上させていただいております。共済費の不足分ということでございます。よろしく願いいたします。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 総務課関連で、新しい議案書の30ページから31ページの消防費の中の災害対策費でございます。

まず、災害対策費として27万5,000円でございますが、これにつきましては、境公民館が来年4月から休止になることから、そこに置いてある防災倉庫を移転する必要がございます。その移転料で27万5,000円でございます。

また、防災無線管理費20万9,000円ですが、これは光熱費の高騰に伴って電気代が高くなったものですから、それに係る費用が20万9,000円増額補正となっております。

以上です。

○議長（青木敏久） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 文化財保護費につきましては、新しい議案書のほうでは計上しておりません。

以上です。

○議長（青木敏久） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 最後に農政課の災害復旧費でございます。

新しい議案書35ページ、金額は9,246万3,000円でございます、につきましては、令和6年8月24日から26日にかけて発生しました荒川の増水により被災しました、三箇、落合、向田に設置されています頭首工の災害復旧工事に伴います実施設計作成業務547万8,000円及び災害復旧工事費8,600万円、さらには、国庫補助事業の対象となりません小規模な市単独事業による農地災害復旧事業費の98万5,000円、この3つの増額補正でございます。

被災箇所につきましては、三箇につきましては三箇下河原堰、落合につきましては落合堰、向田につきましては向田堰の3か所となっております。

工事費につきましては、三箇については1,400万円、落合堰につきましては1,200万円、向田堰につきましては6,000万円の補正を予定しております。

なお、市単独事業による予算でございますけれども、これはいずれも市内5か所の畑、水路等ののり面の復旧に関わるものでございます。

国庫補助事業、市単独事業とも3月いっぱいの完成を見込んでおるところでございます。

以上です。

○議長（青木敏久） よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） 一般会計補正予算についての25ページの放課後児童健全育成事業費、56万円ですかね、これの内容というんですか、詳細をお伺いいたします。

○議長（青木敏久） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） 議案書25ページ、放課後児童健全育成事業費56万円の内容を御説明いたします。

これは国、県の交付金、子ども・子育て支援交付金の精算に伴う償還金ということになって

ございます。

以上です。

○議長（青木敏久） ほかに質疑ございませんか。

12番 渋井由放議員。

○12番（渋井由放） 災害復旧費で頭首工が3か所壊れたということでございます。そのほかに畑のり面や水路などもやられているということなのですが、まず、その3つの頭首工は全部国や市でやるわけじゃなくて、地元負担というのが当然あるのかなと、こういうふうに思いますね。ですから、歳入のその他のところに入っているのかなと、こういうふうに思うんですけれども、いわゆる工事費、または設計費も含めてか知りませんが、どのぐらいのお金がかかって、言い方あれなんですけど、その頭首工によって潤っている面積ですかね、田んぼのね、全部が作っているかどうか分かりませんが、そうすると、1ヘクタール当たりどのぐらいの市民の皆様とか農家の皆様が出すのかと。それによって、やっただけのお金回収できないよねなんていうようなことが今後いろいろ考えられる可能性もあるかなというふうに思うんです。その辺のところの詳しい中身を教えてくださいなと、このように思います。

○議長（青木敏久） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） お答えいたします。

今、渋井委員から御質問ありました災害復旧工事費でございます。こちらにつきましては、国のほうで65%、市が25%、地元が10%の負担割合で工事費のほう行う予定になってございます。

なお、設計業務の、設計書の作成業務委託の547万8,000円、こちらは災害復旧の委託費でございますけれども、これは全額市持ち出しというところでございます。

なお、この3つの堰の頭首工の改修でございますけれども、当然地元負担10%あるというところではございます。また、受益者の意向等でございます。それを勘案しまして、いろいろ調整を図った上で今回の災害復旧工事、国のほうに申請をしております。これからの作付状況等によってはなかなか地元の負担金の支払いというのは苦しい状況ではございますけれども、制度上この災害復旧工事を利用して4月の作付に間に合うように、地元と調整した上での災害復旧工事にしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○議長（青木敏久） 12番 渋井由放議員。

○12番（渋井由放） 今年はお米も上がって、少しはいいのかなとは思いますが、この10%の地元負担というのは、工事費が大きいだけに、作付をする人の意欲がそがれるようなことになるのではないのかなというふうにも思うんです。ですから、この辺、新たな考えで

すけども、市のほうでも何らかの形でもうちょっとお手伝い、お手伝いといいますかね、そういうことができるような方法はないかということを探っていただければなど、こういうふうに思うんですが、いかがですか。

○議長（青木敏久） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 工事費の分母が大きくなれば、10%負担というのは当然地元には重荷になってくるところでございます。この10%の負担を軽減できるかどうか、市の持ち出しも25%ありますので、こちらについては今後検討として、地元負担の軽減を図れるかというのをちょっと検討を図ってまいりたいと思います。

今のところはそこまでの回答となってしまいますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○12番（渋井由放） はい、了解です。

○議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 確認する前に、今回、事務局お願ひなんですけど、この資料は事前にもらったときに、もう一生懸命議員は調べて、もうこれしか武器がないので、これで入れてくるんですね。だけど、今回、これいつ入ったの、新しい議案書が。全て新しくなっているんですよ、これからの議論。そうすると真っ白で、自分でチェックしたやつ何も分からないというのは、こここのところを、執行部はどうか分かりませんが、すごく大きな問題なので、ちょっとこれ検討してほしいなということを最初に言っておきます。そうじゃないともう全然議論がかみ合わない。

で、せっかく質問の時間もらったので、一般会計のほう、ちょっとこれで確認したい内容を行いたいと思いますので、よろしくお願ひします。

歳出のほうで何点か何で補正なのかという確認をしたいんですけども、これページ数も変わっているのかな、新しいやつは。みんな変わっているんだ。

だから、総務費の戸籍住民基本台帳費で、戸籍住民基本台帳の管理費を、158万3,000円か、これを補正でやる理由を教えてください。

次に、民生費の中で児童措置費、私立保育施設運営委託事業費とか、特別保育事業費、広域利用保育委託費、これが補正でこれだけの大きな事業を考えているんですけど、これって補正で対応するしかなかったのかなというのが、これ単純な疑問なので、教えてください。

農業基盤整備促進事業費1,100万円ほどマイナスしていますけども、これって何回も教えてもらったんだけど、これを今回ここを出している、処理している理由もちょっと教えてください。

教育費の中で学校管理費の中に小学校管理費、小学校施設管理費、約500万円とか600万円補正を組んでいるんですけども、これが補正でやらなきゃいけなくなった背景、ち

よっと教えてほしい。

たくさんあるけど、そのぐらいにしないと時間が、以上、教えてください。

○議長（青木敏久） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） 一番最初に質問ありました戸籍住民基本台帳管理費につきましては、その後変更になりまして24万8,000円になっています。最初の金額については人勧による報酬の値上げということで、そんな金額になっていたんですが、今現在は24万8,000円のみになっております。

24万8,000円の内容なんですけど、社会保険、共済組合の負担金の増額になります。

以上です。

○議長（青木敏久） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、私のほうからは議案書25ページ、私立保育施設運営委託事業費、また、特別保育事業費、広域利用保育委託費、これらは補正で対応しなくちゃいけなかったのかという御質問でございますが、結論から申しますと、補正で対応せざるを得ないということで、まず、私立保育施設運営委託事業費でございますが、これは国、県交付金補助金の精算に伴う償還金でございますので、これは補正で対応せざるを得ないということです。

また、特別保育事業費に関しましても精算に伴う償還金、また、単価の変更による増額等でございますので、これも補正で対応せざるを得ないということです。

それと広域利用保育委託費でございますが、先ほども説明申し上げましたけれども、他市町の保育園の利用者が増えたということで、これも補正で対応ということになります。

以上です。

○議長（青木敏久） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうからは新しい議案書の27ページ、農業基盤整備促進事業費1,134万6,000円の減額について御説明申し上げます。

こちらにつきましては、今となっては下川井地区において進めておりましたになってしまいますけれども、土地改良事業に伴います補助整備事業地内の基礎資料の作成業務、さらには設計経費等に要します建設事業費の負担金の減額ということでございます。8月27日の議員全員協議会でも御説明申し上げましたとおり、本年7月8日に地元の推進委員会のほうで補助整備の事業の一旦休止が確定したことに伴いまして、業務委託料の392万1,000円、さらには建設事業費負担金の742万5,000円、合わせて1,134万6,000円を減額したことによるものでございます。

以上です。

○議長（青木敏久） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） 私のほうからは、新しい議案書の31ページ、小学校管理費と小学校施設管理費のほうの御説明をいたします。

こちらにつきましては、小学校管理費は多分古いほうでは会計年度の、先ほど人勧分が入っていたかと思うので、今回、小学校管理費のほうは補正額が20万7,000円というふうになっております。こちらは会計年度任用職員の通勤費の不足が見込まれるという形になっております。

参考に、学校の会計年度任用職員、小学校のほうは全部で21名となっております。

続きまして、小学校施設管理費、こちらが全部で339万8,000円となっております。こちらにつきましては烏山小学校の鉄棒修繕、それから、屋内消火栓のホースの交換、こちら24本分になります。それから、七合小学校の誘導灯の交換10台分、それから、烏山小学校の受水槽ポンプの更新工事、こちら市長の提案理由にもありましたが、266万5,000円となります。

修繕費、それから、更新工事につきましては、点検等で指示をいただきまして、早急に対応いたすものであります。

以上です。

○議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） ぱっと見ると、ページも違うので、ちょっと戸惑ってしまうんですけど、1つだけちょっと確認は、下川井のところは、市の負担というのはこれからどのぐらい発生するのか、それだけ教えてください。

○議長（青木敏久） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 下川井の事業、今年度で事業を一旦休止しましたので、令和7年度以降の市負担というのは伴いません。令和6年度、5年度に実施した分のみの負担となっております。これからは発生しません。

以上です。

○議長（青木敏久） ほかにございませんか。

3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 1点質問させていただきます。

新しい議案書のほうの8ページとかいろんなところに入っているんですけども、自家用有償バス運行業務委託のほう、こちら追加となっているんですけども、以前のものとどのようところが変わるところがあるのかというところと。

あと、私、勉強不足でちょっと分からなかったんですけど、財源のほうの、特定財源のその他の内訳を教えてください。

○議長（青木敏久） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） 今、有償バス関係の御質問いただいたんですが、変わった内容ということで幾つか、債務負担行為をはじめとしまして、そちらの説明をさせていただきたいと思います。

債務負担行為の額につきましては現在の額より減っております。内容としましては、令和5年度、6年度にかけて運行調査をしております。その結果を踏まえまして、便数の見直しとか区間の短縮、運行回数も減少しておりますので、そういったもので債務負担行為の額も予算を減らしております。

具体的なお話をさせていただきますと、まず、烏山高部線ですけれども、こちら便を3便廃止いたします。平日の便を3便廃止、それと休日の便を5便廃止いたします。

それと、廃止、運行する区間がございます。こちら、烏山駅のところから烏山中学校区間、こちらを廃止いたします。やはり利用者がほとんどいないということがございます。

それと運行回数を減らす区間がございます。道の駅みわ、そちらと高部の車庫までの区間、こちら1日4.5回の運行をしておりますけれども、これはやはり利用少ないので、1回ということで、3.5回分を減らさせていただきます。

それともう一つの路線でございます市埴黒田烏山線ですけれども、こちらにつきましても廃止する便がございます。平日が2便、休日が5便を、やはり利用者少ないので、廃止いたします。

それと廃止する区間もでございます。市埴駅から市貝温泉、この区間を廃止いたします。

それと運行回数も減らします。市貝町役場から市埴駅の区間、こちら1日5回運行しておりますけれども、これを3回に減らしまして、2回減らすということにしております。

それと、今まで市埴黒田烏山線、こちら33人乗りの中型バスを利用していましたけれども、こちら規模を変えて10人乗り、29人以下ですかね、そちらのバスに変更いたしますので、全体的に運営費が下がるということで、今回、債務負担行為の額もそれに合わせて計上させていただきます。

以上でございます。

○3番（荒井浩二） あと財源と。

○まちづくり課長（大鐘智夫） はい。特定財源につきましては、国、県との補助金がございますので、そちらを対応させていただきたいと思います。

○議長（青木敏久） 3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） すいません、その国、県のほうなんですけど、国庫支出金とその他のほうで、ごめんなさい、どういった財源が該当するんですか、交付金というか。

○議長（青木敏久） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） こちら乗車の際の乗車料、そちらが対象になりますので、御理解いただければ、お願いいたします。

○3番（荒井浩二） ああ、乗車料。ありがとうございます。

○議長（青木敏久） よろしいですか。

ほかにございませんか。

14番中山五男議員。

○14番（中山五男） 質問項目事前にお渡ししてあるんですが、そのうちのまず債務負担行為について、これは前回の説明等で理解いたしました。これは結構です。

次に、21ページの総務費なんですが、ふるさと応援寄附金事業で当初183万2,000円あったと思います。今回526万1,000円の計上をしているわけなんですが、この使途、使い道、それと、これだけ費用をかけていかなる納税額が見込めるのか、費用対効果についてお伺いをしたいと思います。

次に、同じ21ページなんですが、公有財産購入費、これ先ほど市長の説明もありましたが、1,313万2,000円、これはこの庁舎の道路の下側、あの道路の敷地と、降りてきた右側の職員の駐車場の敷地と認識しておりますが、あそこで今回買収する用地のうち、市道敷面積、それと駐車場面積、それぞれどのような内訳になっているか、その面積を知りたいと思います。

それと、これは以前、もう合併してから2人ぐらいたの同僚議員から質問があったことなんですが、この職員の駐車場、無料なんですが、これでいいのか、ある程度徴収するべきじゃないかという意見がありました。その後、市のほうでは検討してどのようになったのかお伺いをしたいと思います。

23ページの戸籍住民台帳、これも私、最初の差し替え前は150万円ほどありましたから、それも新しい予算でしたから、質問項目入れましたが、これは結構です。

次、23ページの民生費です。障がい児童認定者数、これ今回何名なのか、それで、全児童のうち障がい児の占める割合というのは何%ぐらいになるのかお伺いをしたいと思います。

その下の認知症高齢者グループ関係、これは分かりました。

次に、25ページに児童手当給付関係がありますね。今回、高校生、すなわち18歳までがこの児童手当に該当することになったわけですが、全対象者数、それとそのうち、この高校生、18歳までの部分、これ何名ぐらい多くなったのかについてお伺いをしたいと思います。

広域利用保育、これは分かりました。

次に、27ページ、下川井の農業基盤整備促進事業、これは同僚議員から先ほども質問がありました。さらに、これは8月27日の議員全員協議会の際に担当課長からも説明があった

ところなんですけど、今回、江川沿いの基盤整備がもう廃止、中止というか、廃止になってしまったんですけど、全く私も残念に思っているわけなんですけど、あれは令和5年、6年と2年続けてもう既に予算計上してありました。それはこれまでに幾ら支出しているのか、もう多額の費用を支出しています。これは全く、私としてはこれは責任問題ではないかなと思っておりますが、どれほどの機運が高まってこの事業をやろうとして、この事業の計画を計上したのか、それで、今回なぜそれが駄目になってしまったのか、全く残念なんですけど、もう一度このことについて御説明をいただきたいと思っております。

次に、29ページの観光費なんですけど、観光振興費、当初1,754万4,000円、今回398万6,000円計上、追加しています。この用途についてももう一度説明をお願いしたいと思っております。

次に、31ページなんですけど、これは市営住宅、そのうちの田野倉の市営住宅、これはもう将来廃止をするんだという話を聞いております。あそこは全戸数のうち、現在の入居戸数というのは現在何戸あるのか。何か表から見ますと、まず、あばら家のようになって、障子は破けている、極めて不適切な管理になっているようなんですけど、今回廃止する理由、それと、いつ廃止しようとしているのか、これについてお伺いをしたいと思っております。

次に、31ページ、ここに荒川小学校の施設整備費として119万2,000円載っています。これは、担当課長は御承知のとおり、荒川小学校の校庭の排水が非常に悪い、雨が降るとよくあっちこっちに水たまりができていましたが、これも改善されたんでしょうか、これについてお伺いをしたいと思っております。

次に、33ページです。南那須公民館管理費として123万6,000円を計上しております。これは、実は2階の演台、ステージの拡張をしていただきたいというふうに、これは市長にもお話ししたし、担当課長にも今年の5月か6月の頃申しているんですけど、その後検討されているのかどうかについてお伺いをしたいと思っております。

農業用施設については、先ほどの同僚の質問で分かりました。

以上です。

○議長（青木敏久） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） ふるさと応援寄附金事業費のことで御質問いただいております。

こちらにつきましては、ふるさと納税に係る手数料、委託料、使用料の費用を計上いたしております。

昨日現在で、ふるさと納税の額ですけれども、1,972万8,000円の寄附金をいただいております。令和5年度の寄附金の額ですが、こちらは1,439万2,000円ということで

昨年を既に大きく上回っております。11月分だけを見ますと926万9,000円の寄附額をいただいております。昨年の11月は169万3,000円ですので、447%のアップということとなっております。

9月補正で寄附金の見込額を2,000万円ということで見ておりましたが、寄附額が好調なため、見込額を3,000万円とさせていただいております。この3,000万円にすることで先ほどの手数料、業務委託料、使用料が増額になりますため、今回その差額分を補正させていただくものでございます。

寄附金の使い道ですけれども、市では寄附をいただいている際に寄附の活用希望という5つの項目を挙げさせて、その中から選んでいただいております。

その内容を申し上げますと、まず1つ目が自然環境及び地域景観の保全及び活用のため、2番目としまして、地域福祉及び教育環境の充実のため、3番目が伝統芸能及び地域文化の伝承及び育成のため、4つ目が特産品の育成並びに観光及び産業の振興のため、5番目が、その他としまして、那須烏山市の飛躍と発展に寄与する事業のためということで項目を挙げさせていただいております。

質問の中で費用対効果というお話もありましたけれども、今現在こちらの事業費に係る予算全体で1,500万円を予定しております。それから考えますと、3,000万円の見込みをしておりますので、単純ですけれども、1,500万円の黒字かなということで考えております。

以上でございます。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 議案書21ページ、公有財産購入費1,313万7,000円でございますが、まず、議員おっしゃるとおり、この庁舎から保健福祉センターに降りる中段にある駐車場についての公有財産の購入になります。地権者のうちのお一人が売買に向けて合意形成取れましたので、今後その調整をしていきます。

まず、道路敷地ですが、1,415.31平米、駐車場敷地は605.69平米、合計で2,021平米になります。

また、その次のあった職員の駐車場の件でございますが、現在では令和2年度から駐車場料金の一部負担金として10万円ほど雑入で入れさせていただいております。

なお、令和5年度から5万円引き上げて、現在は15万円、令和6年度につきましても15万円の計上しているところでございます。

以上です。

○議長（青木敏久） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、私のほうからは、まず、議案書23ページ、障がい

児支援事業費に関しまして、障がい児認定者数、また、全児童のうちの占める割合ということでお答えさせていただきます。

まず、本市における障がい児認定者数は現時点におきまして71人となっております。また、全児童のうち障がい児認定者数の占める割合ですが、約2.5%となっております。

続きまして、議案書25ページ、児童手当給付費に関しまして、支給総数と新たに拡充された高校生年代の数ということでございますが、総数は2,365人、新たに拡充された高校生年代の数は518人を見込んでございます。

以上です。

○議長（青木敏久） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうから、下川井の補助整備のこれまでの支出しました経費等についてお答えしたいと思います。

この下川井の補助整備事業につきましては予算措置が令和4年度から始まってございます。令和4年度の下川井補助整備に關します事業費、1,808万4,000円のうち、市の負担が1,437万7,000円でございます。令和5年度の総事業費は1,437万7,000円、そのうち市の負担が485万1,000円です。2か年に渡りまして市の負担額の合計1,922万8,000円を支出してございます。

さらに、今回休止になった理由でございます。改めましてこの下川井の補助整備事業、令和4年度から進めておりましたけども、事業が進むにつれて地元推進員、役員の中からも不参加の意向を表明する方が出てきた、または担い手の確保が十分に確保できなかった。それに伴いまして、借りる人がいないと、当然、土地改良区設置後の賦課金の徴収等にも未納者が出る、または経常賦課金の高騰なども予想されるということの理由から今回の休止という決断に至った経緯がございます。

令和4年度から予算措置はしてございますけども、機運については令和元年度、2年度、3年度から地元からの強い要望があったところでございます。当初はかなりの意欲ある参加率があったところでございますけども、事業を進めるに当たって今のような理由を基に休止に至った経緯がございますので、御理解をいただければと思います。

以上です。

○議長（青木敏久） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） それでは、御質問いただきました予算書29ページ、観光振興費、今回398万6,000円の増額をさせていただいておるところの説明をさせていただきます。

398万6,000円につきましては、科目的には修繕料になります。当初予算でも計上さ

せていただいておりますが、向田地内及び小原沢地内県道に主要観光施設への距離等が書いてある案内板がございます。そちらの修繕を当初予算でも計上させていただいて、本年度計画しておりました。

しかしながら、昨今の物価高騰及び当初予算積算時にも少しその積算額が足りなかったということで、その2件を当初の予定どおり執行させていただくために、今回の398万6,000円の増額をさせていただいているところでございます。

以上です。

○議長（青木敏久） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 議案書31ページ、市営住宅、田野倉団地の件でございます。

今回の補正につきましては、最小限の補修ということで5万円を計上したところでございますが、田野倉団地につきましては、2世帯が一つの建物ということで、5つの建物がありまして10世帯分でございます。そのうち入居されていますのは、現在は6世帯ということになっております。4世帯分、2棟につきましては現在空きとなっております。

市営住宅関係の件につきまして、公共施設等総合管理計画ということで、借地をしている市営住宅につきましてはお返しして解体していこうという方針ではございます。

しかし、田野倉の市営住宅につきましては、現在の契約が令和8年度末までの契約となっておりますので、そのタイミングで売買についても検討する必要があるのかなとは思っておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

以上です。

○議長（青木敏久） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） 私のほうからは荒川小学校施設整備費119万2,000円について御説明いたします。

こちらにつきましては9月に補正いたしました雲梯と滑り台の予算に不足が生じたための補正予算であります。

不足の理由につきましては、設計段階で遊具の経費や基礎工事、こちらの物価高騰、資材高騰、それに伴って諸経費なんかも高騰してしまいまして不足が判明したものであります。

また、今後資材等の高騰が予測されますので、その分も含めまして今回補正予算をさせていただいております。

あと、先ほど荒川小学校の校庭の排水の状況なんですけど、平成27年にグラウンド整備、それから、排水のU字溝等の整備をさせていただきました。グラウンドの整備のほうは暗渠等を入れさせていただきまして、学校のほうに確認しますと、排水のほうはよくなっていると。ただ、整備から9年がたっておりますので、J R、東側のほうですかね、グラウンドの東側のほう

が幾らか削れていまして、砂がちょっと流入しているというような状況の報告を受けております。

今後またグラウンド整備については多額の費用がかかりますので、いろいろと調整してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（青木敏久） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 私のほうからは南那須公民館費123万6,000円についてお答えしたいと思います。

こちらについては修繕料になっておりまして、天井埋め込み型のエアコンが故障したために、こちら一式を修繕するものになります。

それと併せまして、2階演台ステージの拡張を検討されたかということにつきましてですが、施設につきましては、危険箇所の改修以外にすぐに費用をかけていくことは難しいと考えております。現在、生涯学習施設個別施設計画策定作業を進めているところです。劣化度調査や施設の在り方のシミュレーションなどの成果を踏まえて、その上で優先順位を確認し、施設の修繕や改修について検討してまいりたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思っております。

以上です。

○議長（青木敏久） 14番中山五男議員。

○14番（中山五男） それでは、重要点、何点かもう一度申し上げたいと思っております。

まず、ふるさと応援寄附金なんですが、この市の予算の中では支出収入差引きは黒字になるような、先ほど課長の説明だったんですが、よそに寄附してしまったために税収が減額になるというのは、これが大きいんですよ。この辺のところをいかにして防ぐか。これは担当課のほうでは十分検討すべきじゃないかと思っております。今までもこのよそに流れてしまうために、那須烏山市の応援寄附金というのはもうずっと少ない、マイナスになっているような傾向ですから、これはさらに検討していただきたいと思っております。

それと、これは農政課長、中止になったこと全く残念なんですが、この工事を計画する当初から先ほど課長が説明したような理由というのは私予測できたのではないかというような感じがするんですよ。ですから、これから、これは農政課長に関わらず、市が様々な事業を計画する場合には、十分に本当にこれができるのかどうかということを検討した上で計画してもらいたい、そう思っています。

次に、市営住宅なんですが、これは都市建設課長、表から見て、向こうの県道バイパスのほうから見ても、先ほど言ったように、障子がぼろぼろになっているようなところが見えて、みっともなくてしょうがないですから、あの辺のところだけはもうちょっと修繕してくれませんか。お願いをしたいと思っております。

それともう一点、最後に、南那須公民館のこのステージなんですけど、これ、私が言われたのは、踊りをあそこでやる場合、非常に狭いんだと、これは課長にも説明したとおり。両側にあと少しずつでもいいから、この演台を広げてもらえないかというような要望、これは黒尾課長の前の課長の時代からそういった要望があった。いまだに聞き届いてくれない。あれを広げるぐらいはそんな費用がかかるものではないですから、これは建築関係の方に現場を見てもらって、場合によってはそういった踊りの関係の何人かの代表の方に一緒に立ち会ってもらって、どのぐらい広げてくればステージとして十分使えるのか、それと現場を見て、どのぐらい拡張できるのか、この辺のところ、私はぜひ拡張はすべきだと思います。そんなに多額の費用がかかるわけじゃないですから、これは再度検討してください。

以上です。

特別、答弁は結構です。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

ここで暫時休憩いたします。

再開を11時40分といたします。

休憩 午前11時33分

再開 午前11時40分

○議長（青木敏久） 休憩前に引き続き、再開いたします。

ここで堀江議員の質疑に関しまして、佐藤総務課長より追加答弁がございます。

佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 先ほど専決、議案第8号の件について少し答弁漏れがございましたので、お答えしたいと思います。

それぞれの移動期日前、臨時期日前における投票者数でございます。衆議院選、知事選、両方それぞれ申し上げたいと思います。

まず、衆議院選は、志鳥地区が55人、下境地区33人、小木須地区34人、大木須地区25人、烏山高校10人、移動期日前は135人、合計で292人です。有権者数で合計数を割れば1.41%の投票率になります。

知事選です。同じく志鳥地区49人、下境地区24人、小木須地区17人、大木須地区15人、烏山高校14人、大和久福祉会74人、移動期日前106人、全部で299人、有権者数で割ると単純に1.45%の投票率になります。

以上でございます。

○議長（青木敏久） 次に、荒井議員の質問に関しまして、大鐘まちづくり課長より追加答

弁がございます。

大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） 先ほど荒井議員から有償バスの財源の件について御質問をいただきました。その中で漏れている内容がございましたので、追加答弁させていただきます。

特定財源の中で構成しております常陸大宮市、市貝町、茂木町、それぞれ運行距離に合わせまして負担金をいただいておりますので、そちら追加とさせていただきます。

以上です。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、これで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。まず、反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

採決いたします。日程第5 議案第1号 令和6年度那須烏山市一般会計補正予算（第7号）について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第1号は原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第6 議案第2号 令和6年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第2号は原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第7 議案第3号 令和6年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算（第3号）について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第3号は原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第8 議案第4号 令和6年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第4号は原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第9 議案第5号 令和6年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算（第2号）について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第5号は原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第10 議案第6号 令和6年度那須烏山市水道事業会計補正予算（第1号）について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第6号は原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第11 議案第7号 令和6年度那須烏山市下水道事業会計補正予算（第2号）について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第7号は原案のとおり可決いたしました。

日程第12 議案第10号及び日程第13 議案第11号の財産の取得について（追認）の2議案については関連がありますことから、一括して議題としたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。

◎日程第12 議案第10号 財産の取得について（追認）

◎日程第13 議案第11号 財産の取得について（追認）

○議長（青木敏久） よって、議案第10号及び議案第11号の2議案について、一括して議題といたします。

市長の提案理由の説明を求めます。

川俣市長。

〔市長 川俣純子 登壇〕

○市長（川俣純子） 議案第10号及び議案第11号につきまして、一括して提案理由の説明を申し上げます。

まず、議案第10号につきましては、契約期間満了後に市へ無償譲渡となる基幹系システム機器の賃貸借契約について、予定価格2,000万円以上の財産については、議会の議決を得て取得すべきところ、議会の議決を経ずに賃貸借を行っていたことから、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、追認の議決を求めるものであります。

次に、議案第11号につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案は、契約期間満了後に市へ無償譲渡となる小中学校LED照明設備の賃貸借契約について、予定価格2,000万円以上の財産については議会の議決を経て契約すべきところ、議会の議決を経ずに賃貸借を行っていたことから、地方自治法第96条第1項第8号の規定に基づき、追認の議決を求めるものであります。

賃貸借契約は総じて議決不要と考えていたため、議決を経ずに契約を締結してしまいました。議決を経ていなかったことについて、議員及び市民の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、今後このようなことがないように再発防止に努めてまいります。大変申し訳ありませんでした。

以上、議案第10号及び議案第11号について、一括して提案理由の説明を申し上げます。何とぞ慎重に御審議の上、可決・御決定くださいますようお願いを申し上げ、提案理由の説明といたします。

○議長（青木敏久） 以上で提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 議案10号のほうの基幹系システム機器の賃貸借ということと、議案第11号の小中学校のLED設備の改修ということでございまして、この間説明は受け、内容は分かっているんですけども、指名競争入札ということでございますので、それぞれこの競争入札に何社参加されたのか。

それと、予定価格はもちろん公表しないで競争入札したんだと思うんですが、特にLEDのほうで、予定価格8,857万2,000円のもの6,300万円ということございまして、安いことにはこしたことはないんだけど、こっちが考えていたよりも下回ってはいないか、そ

の辺がちょっと心配でございますので、大丈夫ならば結構なんですけど、それぞれの入札状況について御説明をお願いいたします。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） すいません、入札状況で、何社入札指名参加したかということについてはホームページを公開されているんですが、今現在、すいません、手持ち資料ないので、予定価格も公表して入札してございますので。

○16番（平塚英教） 予定価格を。

○総務課長（佐藤博樹） はい。その旨だけお伝えしたいと思います。何社かはまた後で、すいません、申し訳ありませんが、お答えしたいと思います。

○16番（平塚英教） 分かりました。

○議長（青木敏久） 16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） この基幹系システム機器とLEDの、この間の中山議員の質問ではありませんが、それぞれ令和6年11月1日無償譲渡と、それと、LEDのほうは令和13年10月1日無償譲渡となっておりますが、それぞれどのぐらい、簡単に言うと、賞味期限って言い方おかしいんですが、いわゆるこのぐらいまでは対応できますというような年次は確認されていますでしょうか。特にLEDはかなりもつのではないかなと思われるんですが、設置後何年間とか、そういうような内容を把握していますでしょうか。

○議長（青木敏久） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） 基幹系システムのほうにつきましては、パソコン等、機械器具につきましては耐用年数が5年となっておりますので、今現在もう残存価格というのはないということ御理解いただければと思います。

今現在まだ使っているんですが、そちらについては補償というか、点検のほう、そちらのほうはまだ継続して契約しておりますので、そちらのほうで対応している状況でございます。

○議長（青木敏久） 16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） LEDのほうは分からないかな。

○議長（青木敏久） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） LEDの、まず、法定の耐用年数、こちらは照明器具という扱いになりますので、15年という形で定められております。種類にもよりますが、交換の目安は大体、1日10時間ぐらいを使用すると10年前後という形では言われております。

寿命のほうは、70%未満になると寿命がたったという形で考えられております。

以上です。

○16番（平塚英教） はい、オーケー。

○議長（青木敏久） よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

14番中山五男議員。

○14番（中山五男） 議案第10号、11号それぞれについてお伺いをしたいと思います。

今回の議案書の中にその契約書が載っていたものですから、私初めてこれを見まして知ったんですが、この契約の中に「期間満了後は無償で譲渡する」となっていますね、満了後、無償でいただいても、あまり使い道もない。それで、逆に廃棄処分の手数料がかかったのではかえってもらわないほうがいいのではないかなというような感じをしたものですから、何点かお伺いをしたいと思います。

まず、10号のほうなんですけど、先ほどの課長の答弁ですと、減価償却は5年だそうですね。と、もう残存価格はゼロなんだということなんですけど、それでもまだこれから何年か使用可能なかどうかということ、このこと。

それと、処分する際にはどのぐらいの費用がかかるのか。

これからの、5年後の使用年数と処分の費用について、10号についてお伺いをしたいと思います。

次に、11号のLED照明設備なんですけど、これも10年契約なんですけど、その後何年ぐらい使用可能なのか。

それと、いずれは廃棄処分になりますが、その際の費用はどのぐらいかかるのかについてお伺いをしたいと思います。

それに併せてお伺いしたいんですが、この2つ以外に市が賃借している、公用車に使っている車とか事務機器が色々あると思うんですが、これは契約条件というのはどうなっているんでしょうか。主なところだけお伺いをしたいと思います。

以上です。

もう一点、すいません。このLEDに照明を替えましたね。それによって電気消費量というのは年間どのぐらい節約できたのか。その消費量の削減についてお伺いしたいと思います。

○議長（青木敏久） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） それでは、パソコンのあと何年使用可能かというところなんですけど、耐用年数は5年ということにはなっておりますが、まだしばらくはというか、保守のほうを入れて故障した場合には対応してもらおうように、そちらのほうは契約を継続しておりますので、いましばらくは使えるかと思っております。

新たにこの機械のほう、システムの標準化・共通化がありますので、そちらで入替えをするということで設定しておりますので、御理解いただければと思います。

それから、処分費用のほうなんですけど、確認したところ約120万円程度かかるような話でございまして。

以上です。

○議長（青木敏久） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） 学校のLEDの使用年数なんですけど、先ほど大体10年という形ではお話ししたんですけど、法定耐用年数は15年ありますので、契約期間後、無償譲渡したら5年間ぐらい使えるかな。

ただ、LED、先ほど1日10時間というような形での説明でしたので、使用している場所、使用しない場所が全然違いますので、それによっては切れ方が違ってくるのかなというふうには考えております。

それから、電気料のほうでは、令和3年度にLEDを入れておきまして、令和2年度の電気の使用料、それから、令和4年度の電気使用料を比較しますと、17%ぐらい減額と、使用料が減っております。これは全てがLEDの効果かと言われると、ちょっと全部把握しているわけではありませんが、ある一定の効果はあったのかなというふうには考えております。

以上です。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 最後に、賃貸借している主な機器の契約条件ということなんですけど、改まって契約条件が何かというようなところは明確にお答えすることは難しいかなと思います。賃貸借している主なものは、先ほどの車のリースはもちろんのこと、LED照明、また、基幹系や各種業務上のシステム機器、フルカラー複合機、コピー機、そういったものは賃貸借しているものでございます。

5年から10年ほど使うと、やはり更新されて、新しいものを入れたときに、新しいものにしたほうが効果的に使えるもの、買い取ってしまうとそれをずっと使わなくちゃならないので、そういった面を考慮してリースにしているというような状況でございまして。

また、現段階で、現在も賃貸借しているものの中で無償譲渡につけているものにつきましては、市民課において、本人確認書類裏書印字システム賃貸借や学校教育課における学校給食センターのLED照明設備の賃貸借、それにつきましては無償譲渡権付の2,000万円以下のリースとして現在運用しているところでございます。

以上であります。

○議長（青木敏久） 中山議員よろしいでしょうか。

○14番（中山五男） はい。

○議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 今回の2つの件は、2,000万円を超えて議会の承認が必要だということがどういう時点で分かったのかという話と、決裁もらうにも、これは市長までのやつですよと、市役所のプロセスの中には承認欄の項目とか、全部プロセスがきちんと決まっているんだけど、そういう中にこれは議会の承認が必要ですよという、そういう仕組みとしても出来上がっていたのにもかかわらず抜けちゃったのか、それがちょっと気になるので、それが抜けているんだとすれば、やっぱりそのプロセスの流れの中できちんと分かるような仕組みにしないとまずいんじゃないかなということについてどういうふうに考えていますか。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） ちょうどこの漏れて、こういったものが明るみに出たのが教科書の図書ということで、9月の定例会から、ほかの自治体でもあって、本市としてはこういったものが議会に可決要件だという認識はなかったというのがまず1点。

それ以降は全てこういう対応にならないように、再発防止の中でも、今おっしゃるような決裁の中で確認するようなものができてございます。

以上です。

○議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 今回の課長の説明は、僕の質問した、流れのプロセスの中でもうきちんとシステムとして確立しましたと、だから、今回のようなことは起きませんということなんですけど、ほかの内容ではこういうことって何回も何回も今までもあるような感じがしたので、見直しは何か必要ですか。ほかの、要するにプロセスでもってこういう抜けが出てしまうようなことって結構今まであったじゃないですか。そういうものって見直しをするような内容はないですか、ほかに。ないということなのか。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 議会にかけるものについては、今まではなかったという理解であります。

今後も議会にかけるものに漏れるということはないです。

○議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 議会のかける、かけないというやつで今回こういうことが分かったんですけど、ほかにもそういう、処理をしなきゃいけないような内容で、きちんとそのシステムどおりやれば大丈夫ですよという見直しをする中で、議会を通るか、通さないかばかりじゃなくて、ほかの内容ね、何だか忘れたけど、この前もあったような気がするんだけど、そういう見直しは大丈夫かな。

○議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 努力してまいりたいと思いますが、いずれにしても決裁という機関、チェック機能がありますので、その中でしっかり審議してまいりたいと思います。

○議長（青木敏久） よろしいですか、はい。

ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、これで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

採決いたします。日程第12 議案第10号 財産の取得について（追認）、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第10号は原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第13 議案第11号 財産の取得について（追認）、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第11号は原案のとおり可決いたしました。

ここで暫時休憩いたします。

再開を13時05分といたします。

休憩 午後 0時04分

再開 午後 1時05分

○議長（青木敏久） 休憩前に引き続き再開いたします。

ここで、平塚議員の質疑に関しまして佐藤総務課長より追加答弁がございます。

佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） それでは、議案第10号、議案第11号、財産の取得に関して入札状況の質問がありましたので、お答えしたいと思います。

公表されている内容でお答えいたします。

まず、議案第10号、基幹系システム機器の賃貸借でございますが、これは指名競争入札で、応札者が4社ございました。その中の1社、契約された会社になります。

予定価格は4,230万円で、その内の価格で落札率は90.50%です。

議案第11号、小中学校LED照明設備賃貸借でございますが、これにつきましては、応札業者が2社、そのうちの1社が契約会社となっております。

予定価格は税抜き月額で67万1,000円でしたので、その内で落札率は72.04%で落札してございます。それに基づいて契約に至った経過がございます。

以上であります。

◎日程第14 議案第12号 新市建設計画の変更について

○議長（青木敏久） 日程第14 議案第12号 新市建設計画の変更についてを議題といたします。

市長の提案理由の説明を求めます。

川俣市長。

〔市長 川俣純子 登壇〕

○市長（川俣純子） 議案第12号につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案は、平成17年2月に策定し、令和6年度に計画期間が終了する新市建設計画につきまして、計画期間延長の変更をするため、旧市町村の合併の特例に関する法律第5条第7項の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

平成30年4月に東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律が施行され、合併特例債の発行期間が被災市町村で25年度とされたことにより、本市において25年間の発行が可能となりました。

本市では東日本大震災により多くの公共施設等が甚大な被害を受けました。被害からの復興について、被災した武道館の解体撤去及び改築をはじめ、下江川中学校と荒川中学校の統合及び統合により閉校となった中学校の小学校への転用、その他老朽化による建物の撤去等を推進してまいりましたが、庁舎の耐震設備やその他公共施設の集約化等の課題が現在も残っており

ます。

これを踏まえて、本市における発行期限までの事業の財源として合併特例債を有効に活用するため、新市建設計画の計画期間を平成17年度と、これに続く25年度であります令和12年度に変更し、この機会に併せて財政計画を変更するものであります。

なお、旧市町村の合併の特例に関する法律第5条第8項の規定に基づき、栃木県知事と協議したところ、10月18日付「異議なし」との回答をいただいていることを申し添えます。

何とぞ慎重審議の上、可決・御決定くださいますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

○議長（青木敏久） 以上で提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はございませんか。

3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 新市建設計画の変更について御質問をさせていただきます。

こちらの計画についてなんですけども、まず、確認したいのが、これ、計画の変更部分だけが赤字になっているのかということを確認させていただきたいんですけども、それと、これ、平成17年からということをやっていて、26年に1回変更されているわけなんですけれども、当初の目標から、目的というか、計画からあれして、今回計画が延長になるということなんですけれども、まだ計画の、いわゆるおおむねどれくらい、何%ぐらいを現在達成した上での変更計画なのかということをお伺いしたいです。

それと、あと、これ、ページの最後のほう、資料の最後のほうに財政計画表とあるんですが、こちらちょっと分からないのがあるんですけども、最後の40ページのところ、令和9年、令和10年のところだけ歳入合計が、国の繰入金が変わってきているんですけど、こういった要素で変わってきているのか教えてください。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） ただいまの荒井議員の質問にお答えします。

まず、初めの計画の変更部分が赤色になっているところ、それが今回計画で変更した部分になります。

次の計画が変更されまして、現在何%ぐらい進んでいるかということなんですけれども、今回変更する大きな理由としましては、合併特例債がまだ全部使い切れていないということで、期間を延長して合併特例債を活用したいという意向で変更しているものですから、全体で合併特例債、当初106億円程度の合併特例債が活用できるということで、令和5年度末現在94億円の特例債を活用しております。残り約11億円ほど残ったものを活用したいという意

向でございますので、特例債を使った進捗状況でいえば、約89%ほど実施しているものと考えております。

最後に、財政計画の40ページ、繰入金のところなんですけど、こちらは令和9年、10年だけが繰入金が上がっていると……。ちょっとここについては後で確認してお答えしたいと思います。

○議長（青木敏久） 3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 今回の計画は、この計画というのは、平たく言えば、合併特例債を使うに当たっての計画ということで、金額ベースでいくとほとんど消化しているところなんだろうと思うんですね。これ、私ちょっと議員になる前で分からないところがあるんですけども、平成26年、もうおよそ10年ぐらい前なんですけど、震災の後になると思うんですけど、震災がこの計画にどれくらい影響を与えたか、その時点で平成26年に結構変更があったのか、その部分について教えてください。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 震災の影響により庁舎の検討の部分が一時止まってしまったりしているところが大きな影響になってくるかと思いますが、その他震災復興を第一にしておりましたので、建設に係る部分とかがその当時、当初の計画より遅れてしまったというところに影響が出ているものと思われれます。

○議長（青木敏久） 3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 3回目になるので、あれなんですけど、それって具体的にここに出ているものってありますか。震災に関する言及みたいのってありますか。多分あまりない。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） こちらの財政計画については、赤字の部分で、令和5年までは決算ベースで入れてありますので、実際の計画ベースとは若干違っております。その当初の計画と比較しないと変更点が分からないということで、5年までは決算で、6年以降についてはそれを基に推計したもので入れておるところです。

○議長（青木敏久） ほかにございませんか。

12番渋井由放議員。

○12番（渋井由放） 6ページに地図が出ておまして、6ページです。この土地利用現況図ということで、紫色というのかな、これはどうもレジュー施設というふうな位置づけになっておまして、もしかするとゴルフ場なんかも入っているのかなと、こういうふうになっておまして、別にそれ変更しなくたって何だっかっていいんだよということは私は思うんですけど、例えば、右のほうにあります、これ、下境とかじゃなくて、横枕とかって、そっちのほうかなと

思うんですが、ゴルフ場だと仮にすると、もうゴルフ場ではなくなったかなと、ほかのところも違うところがあるんじゃないのかなと、こういうふうに思うんです。これによってお金が変わるとか、そういうことではないとは思いますが、その辺のところはどういうふうなことなのか御説明いただければと思います。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 今回の変更につきましては、まず、大きなところで期間の変更と財政計画の見通しの変更というところをメインとしておりまして、その他こちらの土地利用現況図に書いてあるレジャー施設等、そういったものは全く見直していないのが現状でございます。改めてそこを見直す必要については、県のほうとの協議の中でも必要ないということで、見直しをしていないということで御理解いただければと思います。

○12番（渋井由放） 了解しました。

○議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） これはすごいボリュームのある資料なので、読み解くのは非常に難しいんですけど、財政の見通しがどうだというのがメインで読んでいくのと、あとは全体的に読んでどうかという、ちょっとそれだけでお願い事項を伝えたいと思います。

一つは、この全体像の中で何をメインにというふうに読んでいくと、やっぱり活気あふれるまちづくりというところが薄いかなというのが僕の印象なので、ちょっとその辺検討してほしいというのが1点。

あと、財政に関しては、資料がついていますよね、この資料の説明はなかったんですけど、資料で、平成17年度から、最終的には何年まで見ているんだ、令和12年度まで見通しする資料になっているんですけども、例えば、一番最後の資料の40ページに歳入が令和6年度で131億8,300万円、歳入の合計がね、それが令和12年度で117億円ということで、歳入はこれだけ減るよということなんだけど、このレベルで本当に済むんだらうとか、そういうふうに読み解いていくと、懸案事項ってかなりあるはずなんですけども、やっぱりこれだけ検討すると、懸案事項というのを明確にしておいたほうが良いと思うんですね。

最初に見たときに僕が衝撃を受けたのは、何年後には43億円も1年間不足なんだというときには、もうみんな議員が「えー」と思ったぐらい懸案事項がずっと、きちんと整理されていたので、これは信憑性があるなと思ったので、懸案事項をきちんとまとめてほしいんですね、そうでないと課題が明確になってこないの。逆に言うと、これは令和12年度で全然問題なくうまくいきますよという資料にしか読み取れないので、そんなわけはないはずなので、そこだけちょっと明確にしておいてくれれば、議論が結構、内容が濃いものになるので、そこだけお願いします。コメントをお願いします。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 新市建設計画における活気あふれるまちづくりというところなんですけれども、こちらの前半の計画部分については全く変更していないので、計画つくった当時のままになっているということで御理解いただければと思います。

活気あふれるまちづくりについては、現在の第三次総合計画とか、今後つくられる総合計画の中でもきっちり位置づけていければと考えます。

懸案事項についても、同じことなんですけれども、新たな総合計画の中でもしっかり位置づけていきたいと考えております。

○議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 今の答弁だと何かほとんど回答になっていないので、お願いとして、やっぱり懸案事項もきちっとやっておかないと、受け止めるほうも、あと、検討するほうも、ここまで深い検討をしたんですよというのが見えてこないで、ぜひお願いしたいというのが私の要望と意見なので、何も見直していません、そんな答えじゃなくて、お願いします、一言コメント。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） そのようにやっていきたいと考えます。

以上です。

○議長（青木敏久） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） 今議論になっていますが、平たく言うと、合併特例債を25年、合併してから25年延ばすよという話ですよ。これ、今出ている新市建設計画、この位置づけというのは、いわゆる総合計画とは全く別な話というふうに考えていいんでしょうか。どういった位置づけでこの問題が出てきて、合併特例債を延ばす、25年延ばさなきゃいけない、延ばすというときにこれが出てきたのかというちょっと説明をいただければと思います。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 新市建設計画というのは合併する際に新しい市の指針とするものとしてつくったものでございます。それによって合併特例債が活用できるということになっておりますので、現在も東日本大震災とかによりまして合併特例債の活用できる期間が延長されたことにより、当時の新市建設計画を変更しながら、特例債を期限いっぱいまで使っていきたいという考えでの計画の変更ということで御理解いただければと思います。

○議長（青木敏久） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） それでは、合併特例債を25年延ばすためにこの書類が必要だという考えなんですか。ですから、中身については、今、小堀議員からもありましたけど、いろん

な中身の整合性とか、おかしいという点は当然出てきていますよね。それについては、県としては、それはいいよと、取りあえずここに「25年延長する」という文言が入っていればいいよということで、延長25年できるというふうな考え方でよろしいのでしょうか。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） その考えでお願いいたします。

○議長（青木敏久） よろしいですか。

○10番（相馬正典） はい。

○議長（青木敏久） 16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 25年間延長するじゃなくて、5年間延長ですよ。要するに平成17年に合併して、それから、続く25年間ということなので、これから5年間延長してこの10億円を、合併特例債を使いたいと、こういうことだよ。

それで、合併特例債としても債権だから、借金なんですよ。これまで94億円を、合併特例債を活用した事業を実施したと。これについては、当然国からの交付税算入等で賄ってもらっている部分もありますが、自分で返している部分もありますよね。なおかつこれから10億円借りるわけなんですけども、それについてもやっぱり自己負担を伴うのかなというふうに思うんですけども、それは最後のほうの、簡単に言うと38、39、40ページ、これの中でどの辺を見たらいいんですかね。要するに交付税の中に算入されてきているので、平成17年の頃から見れば交付税は増えていますよねと、こういうふうに見たらいいんですかね。その辺ちょっと説明をお願いします。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 今まで活用した94億円の合併特例債については、これまでの交付税なんかには措置されて入ってきているものとして試算しております。令和6年以降については、まだ借りていない部分については除いたもので考えております。今まで借りたものについては、入ってくるという試算で検証しておりますが、残りの約11億円の活用については、今後また計画変更もあり得ると御理解いただきたい。

それと、延長期間なんですけれども、期間は今回6年になっております。というのは、合併年度とそれから続く25年間ということなので、従来の考え方ですと、ちょっと1年少ない考え方だったものですから、今回改めて6年間延長して令和12年度までということにしております。

○16番（平塚英教） はい。

○議長（青木敏久） よろしいでしょうか。はい。

○16番（平塚英教） いずれにしても、これは、合併特例債というのは、交付税算入は

何%でしたっけ、75ですか、ちょっと私正確でないので、その後の25%は市の借金払いになると思うので、その辺は十分将来に負担のないような使い方を検討していただきたいなというふうに思います。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） 市債というページですかね、6ページの合併特例債の使用状況を、今後の計画なんですかね、令和10年度でこれは、3億6,200万円ですか、で、11年度はゼロになっていますね、合併特例債。この計画でいくと、多分この後庁舎整備とかも関わってくると思うんですが、そうすると、何年になるか分かりませんが、せいぜい使っても2、3億円だということですよ。ですから、庁舎整備にどれぐらいを計画しているのかなというところをまずお伺いしたい。

それともう一つですけども、7ページ、人件費、令和12年度は令和5年度に比べて上がっていますね。多分ですけども、令和12年度あたりになってくると、人口も減少しまして、職員の数もひよっとしたら減るのではないかなと。昇給額とかもいろいろあるとは思いますが、こういう金額が上がるという予測はどういうのを基に上げているのか、その2つお伺いします。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） まず、庁舎のほうに合併特例債どれぐらいを当てる検討しているのかというところで、先ほど荒井議員のほうから令和9年度、10年度の繰入金が増えている理由はというところで、こちらの繰入金というのが実は庁舎に充てる特例債のところの部分を考えておりまして、そこで上がっているということになりまして、合計約5億円ほどを庁舎のほうに充てる予定としております。

人件費が令和12年度に上がっているというところなんですけれども、こちらの、一応その人数については定員管理計画による人数で積算したんですけれども、令和12年度に金額が大きく上がっている理由というのは、ちょっと後で確認させて報告させていただきます。

○議長（青木敏久） ほかにございませんか。

14番中山五男議員。

○14番（中山五男） 新市建設計画の6年間延長することには異議ありません。ただ、過去のことについて1点お伺いしたいんですよ。

この計画は策定以来およそ20年をもう経過しまして、合併特例債もおよそ100億円ほど使っています。で、この計画書の表紙を見ますと、「自然」と「やさしさ」と「知恵」を育む、暮らしやすいまち」と理想を掲げているわけなんですけど、そこでお伺いしたいのは、この「自然」を育む、暮らしやすいまち」のために、「やさしさ」を育む、暮らしやすいま

ち」のために、そして、「「知恵」を育む、暮らしやすいまち」のために、それぞれ具体的にいかなる実績を残されたかをお伺いします。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） ただいまの中山議員の御質問にお答えします。

「自然」と「やさしさ」と「知恵」を育む、暮らしやすいまち」とは、新市建設計画の目指すべき将来像として位置づけたものであります。平成17年度の新市建設計画策定時には、「健全な行財政基盤の確立による、自律したまちづくり」と「住民が主役のまちづくり」を基本理念としまして、「自然」につきましては、道路整備ですとか公共交通網の整備、公園緑地整備、「やさしさ」につきましては、保健・医療の充実、高齢者福祉の充実、児童福祉・子育て支援の充実、「知恵」につきましては、学校教育の充実、生涯学習の充実等を主要施策に掲げまして事業を実施してきたところであります。

具体的な実績としましては、「自然」につきましては、市道大桶白久線、関下精神場線等の道路整備や、デマンド交通や市営バスの運行等の公共交通網の整備、緑地運動公園のLED照明や大桶運動公園の駐車場等の公園整備と、「やさしさ」につきましては、健康マイレージや子宮がんの予防接種、帯状疱疹の予防接種等の保健・医療の充実、ふれあいの里やフレイル予防等の高齢者福祉の充実、なすから赤ちゃん応援券やなすからこども園整備等の児童福祉・子育て支援の充実をしてきております。「知恵」につきましては、ALTの配置、中学生海外派遣事業、学習用タブレットの整備等、学校教育の充実等を実施してきたところでございます。

以上です。

○14番（中山五男） 了解いたしました。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、これで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

採決いたします。日程第14 議案第12号 新市建設計画の変更について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第12号は原案のとおり可決いたしました。

◎日程第15 議案第13号 曲畑辺地及び志鳥下辺地に係る総合整備計画の策定について

○議長（青木敏久） 日程第15 議案第13号 曲畑辺地及び志鳥下辺地に関わる総合整備計画の策定についてを議題といたします。

市長の提案理由の説明を求めます。

川俣市長。

〔市長 川俣純子 登壇〕

○市長（川俣純子） 議案第13号につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案は、曲畑辺地及び志鳥下辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

曲畑辺地に係る総合整備計画につきましては、合併時に旧南那須町から引き継ぎ、事業を実施してまいりました。また、志鳥下辺地に係る総合整備計画につきましては、令和2年度から新たに追加し、5年間の期間で事業を実施してまいりました。

これらの計画は5年ごとに見直すことになっておりますが、令和6年度をもって現在の計画期間が終了しますことから、引き続き令和7年度から令和11年度までの5年間の期間で、市道田野倉曲畑線及び市道下川井柏崎線の道路整備を図るものであります。

なお、総事業費は、いずれの路線につきましても4億500万円を予定しております。

この総合整備計画が総務省及び栃木県に認められることにより、事業実施の際、財源として辺地対策事業債の借入れが可能となります。これは充当率100%、元利償還金の80%が普通交付税に算入されるという非常に有利な地方債であります。

なお、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第4項の規定に基づき、栃木県知事と協議したところ、10月21日付「異議なし」との回答をいただいていることを申し添えます。

何とぞ慎重に御審議の上、可決・御決定くださいますようお願いを申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（青木敏久） 以上で提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） 田野倉曲畑線なんですけど、これで整備する区間なんですけども、この地図を見ると、終点となる区域は、地区というか、そこは、あそこに工場があって、頂上付近かなというふうに思われるんですが、山中入口の交差点から道路入っていきますと、センターラインが引いてありますね。頂上付近はセンターラインが引いていないです。その僅かな区間なんですけども、はっきり言ったら、そこだけ急に狭くなるわけですよ。辺地の整備をやると、そこは道路をかなり広く確保できるんですけども、その狭くなった、僅かな道路、これ今後市としてはどのように考えておりますか、市独自でそこは整備する予定ですか、その辺はお伺いしたいなと思います。

○議長（青木敏久） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 本日上程しましたのは5年間における辺地計画でございますので、堀江議員おっしゃいますとおり、この終点まで行った折には再度辺地計画を作成しまして、継続して事業のほうを進めていきたいと考えております。

○4番（堀江清一） では、そのとき、また。

はい、了解しました。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 議案第13号でございますが、曲畑、田野倉は分かったんですが、この下川井柏崎線、志鳥下辺地ということでございます。これについても同じように終点まで、今度は一気に改修されるという、このピンクの部分が全部改修されるという考え方でよろしいんでしょうか。それで完成というふうに見てよろしいんでしょうか。

それと、この辺地度の点数が、113点が赤くなっているんですけど、これは前のものが改修されたという見方でよろしいですか。辺地の人口も170人赤くなっていますよね。これについてもどんなふうに見たらいいんですか、これ。説明をお願いします。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 辺地計画の赤くなっている数字につきましては、今回変更したものという理解でお願いしたいと思います。

もう一つ、前半の部分の質問ちょっと聞き逃してしまったんですが。

○16番（平塚英教） 終点まで、全部完成しますよという考え方でいいんですかね。

○総合政策課長（小原沢一幸） 下川井柏崎線につきましては、今回終点までの区間を計画区間として申請するもので、残区間というのが右端のほうに残っていると思うんですが、そちらについてはその後の申請によって対応していきたいと考えております。

○16番（平塚英教） 残区間が、これもまた後でやるという考えでいいんですね。終わらないということだ。

はい、分かりました。

○議長（青木敏久） よろしいですか。

10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） すいません、今見ていました。いずれの工区についても、施工済期間、これから施行する期間が、いずれにしてもこれからするところが非常に短いんですけれども、事業費が倍かかるというのは何か特別な理由があるのでしょうか。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 事業費につきましては、毎回というか、前回も同じ事業費で申請しております。実際には辺地債の枠というのが決まっております、その枠配分の範囲内の事業という形になっていますので、実際にはここまで使えるかどうか分からないんですけれども、申請上は前回と同じ額を申請しているということです。

○議長（青木敏久） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） はい、分かりました。

令和6年度までは見込みで1億4,800万円かかったと、その後7年から11年で4億円かかると、私はそれを聞いたかったです。何か特別な工事でこれだけあるのかとか、ただ単に枠を単純に取ったと、4億円の枠を取ったというふうな解釈なんですか。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 一応計画上そのような枠を取ったという考えです。

○議長（青木敏久） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） それでは、一応4億円が限度で、それ以上はかからないと、実際にはもうちょっと安くできるんだよというふうな理解でよろしいのでしょうか。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 実際には毎年度の枠が現状ちょっと不透明なものですから、枠はいっぱい取っているんですけれども、実際、昨年度なんかは、田野倉曲畑線は単年度で4,860万円、下川井柏崎線については2,000万円の事業費だったものですから、その5年間のトータルでもここまではいっていないのが現状であります。

○10番（相馬正典） 了解です。

○議長（青木敏久） ほかにございませんか。

3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 計画については概ね理解したんですけども、ちょっと分からないところがあるので、教えてください。

総合整備計画書1部ずつ出ているんですが、これで赤字になっているところ、辺地度の点数だったりとか、人口とか、こういったもの、点数は高いほうが辺地という考え方なのか、これが、ちょっとそこら辺どっちが上で、どっちがあれなのかというところを教えていただきたいのと、それがどういうふうに辺地債の、どれぐらい枠を確保できるか、そういう係数に入ってくるのか、ちょっと教えてください。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 辺地度点数につきましては、100点以上が辺地という考え方になっております。

○3番（荒井浩二） 人数、人口はこれ関係ないですよ。

○総合政策課長（小原沢一幸） 人口のほうにつきましては、地域の中心を含む5キロ平米以内の面積の中に50人以上の人口を有することが条件となっております。

○議長（青木敏久） よろしいですか。

○3番（荒井浩二） はい。

○議長（青木敏久） ほかにございませんか。

12番渋井由放議員。

○12番（渋井由放） 先ほどちょっと総合政策課長おっしゃいましたが、辺地の計算といえますか、駅までの距離とか、そういう様々な決まりがあって、早い話が不便なところだよというような形、そのカウントの仕方があるんですが、この地図ありますけど、烏山では、川戸・四斗蒔辺地というところがどうもあるようですが、そのほかにも、この周りだったら、何となく広がるというか、広げるというか、そういうことができるのではないかなと、こういうふうに勝手に思うんですね。南那須のほうは、輪之内、曲畑だとか、八ヶ代とか入っているわけですけども、烏山だけほんのちっちゃく、そうすると、そういうところを再度、別に辺地にしてくださいと言っているわけじゃないんですけども、有利な、様々なお金が利用できると仮に仮定して、その辺のところの精査を行ったことがあるのかどうかを伺いたいと思います。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 烏山地区のほうの川戸・四斗蒔辺地について、それ以外の部分の検討を行ったかというところなんですけど、現在のところ検討はしておりません。今の

辺地整備計画のところの整備が順次進み次第、また該当箇所については検討していければと考えております。

以上です。

○議長（青木敏久） 12番 渋谷由放議員。

○12番（渋谷由放） 今回のやつを順次やっていくということもあるかもしれませんが、別なところも新たにというようなことも考えて、これはいろんな考え方があるので、辺地になるかならないかというぐらひは、計算ができるとすれば、やっておいたっていいのではないかな。そうすると、例えば、道路の改良、たまたま、市道をこっちのほうで改良することはないのかもしれないし、相手にされていないかもしれないんですけど、その辺のところも含め、先を一步見た考え方というのにも必要であるような気がします。その辺のところを今すぐ、この議論ではないですが、考えていただくよう要望いたしまして、答弁は結構ですので、お願いいたします。

○議長（青木敏久） ほかにございませんか。

14番 中山五男議員。

○14番（中山五男） この計画を見ますと、田野倉曲畑線は5か年で工事延長が600メートルとありますと、年間僅か130メートルですね。下川井柏崎線も5年間で工事延長500メートルですから、年間100メートルです。この工事延長ですが、もっと延ばせないのかどうか。

これは、田野倉曲畑線はもう合併前から始まっている路線です。5年間やって完了するのかわいえば、まだまだ完了しませんね。下川井柏崎線も、90メートルでしたっけ、まだまだ残っているような状況で、この工事期間の短縮というのは、結局は事業費に関わってくるわけなんですけど、この辺のができない理由についてお伺いします。

○議長（青木敏久） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） できない理由という、一応、辺地債については、県のほうから枠配分ということで那須烏山市の枠がある程度決められてしまって、その範囲内での工事をしております。よって、メートル数のほうが年間100メートルとか130メートルとか短い距離での施工になっているのが現実なところなんです。

それなので、できない理由というのは、辺地債を使つての事業になりますと、毎年度の枠の中での工事ということになりますので、御理解いただければと思います。

以上です。

○議長（青木敏久） 14番 中山五男議員。

○14番（中山五男） とにかく年間100メートル程度の工事延長じゃ、なかなかこれ進

まないですよ。課長、この事業費確保のために、これは担当課のほうで指示を出しますよね。多分それだけで終わっちゃうんじゃないかと思うんですよ。それで、具体的にこの事業費確保のためにどのような努力をされているんですか。ただ、これは事務屋だけじゃ済まないかもしれない、政治的にも必要かもしれません。この辺の努力が必要じゃないかと思いますが、その辺どうなんですか。

○議長（青木敏久） 川俣市長。

○市長（川俣純子） 議員がおっしゃりたいのは分かります。もっと要望すればということではないかと思いますが、辺地債の会議も入っていますし、いろんな意味で要望はさせていただいています。

ただ、これ全国なんですよ。だから、全国でやはり取り合いになっていますので、なかなか割当てが来ないのが現状なので、今2か所やらせていただいているということは割とやれているのかなど。もっと人口が少ないところは、もっと確かにもらっているところもありますので、どちらがいいのかと言われると、難しい判断だと思いますので、なるべく進めるように私のほうからも努力して要望もさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（青木敏久） 14番中山五男議員。

○14番（中山五男） さらに努力するよう希望いたします。

○市長（川俣純子） ありがとうございます。

○議長（青木敏久） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議はございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、これで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

採決いたします。日程第15 議案第13号 曲畑辺地及び志鳥下辺地に係る総合整備計画の策定について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（青木敏久） 異議なしと認めます。よって、議案第13号は原案のとおり可決いたしました。

○議長（青木敏久） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の本会議は12月4日水曜日、午前10時に開きます。

本日はこれで散会いたします。お疲れさまでございました。

〔午後 1時53分散会〕